

## 令和8年度第1回下越地域医療構想調整会議

### 1 開催日時

令和8年4月20日（月） 午後6時30分から午後7時30分まで

### 2 開催方法

対面開催

### 3 会議の概要

#### (1) 下越医療圏域の現状と課題について

構成員から以下の発言があった。

(人口構造について)

- ・ 75歳以上の人口は2050年頃まであまり変わらないので、高齢者救急を担っている病院は、今後も今の体制を維持できると考えている。
- ・ 85歳以上の人口は、平均寿命の年齢になるので、推計より減るのではないか。

(スタッフ確保について)

- ・ 医師の高齢化で、医師の確保は難しくなる。
- ・ 医師はいるが、看護師が不足していて、医療需要に応えきれていない。
- ・ 看護師確保は非常に困難で、医療機能維持の話をする前に、看護師を確保できずに病床を減らさざるを得ない状況が来るのではないかと危惧している。

(持続可能な医療提供体制について)

- ・ 持続可能な医療提供体制とは、患者に必要な医療の流れを地域で作り、各病院が経営的に成り立っていくことだと思っている。

(現状のデータ分析について)

- ・ 資料でDPC傷病名の件数が示されているが、このデータだと細かすぎて分析できない。もっと大まかなデータが良い。
- ・ 高齢者救急のデータについては、外科救急と内科救急に分けるなど、論点を絞らないとデータとしては使えない。
- ・ 現状のデータを出した上で、議論していくというのは非常に良い方法だと思う。

#### (2) まとめ

今後は、具体的なデータを集積していき、実態に即した議論を行っていく。